

## 【コーポレート】LINEとトヨタ、協業基本合意書締結のお知らせ

2017.06.15 コーポレート

---

LINEが提供する「Clova」とトヨタが推進する「SDL」を活用した

コネクティッドカーサービスの協業を検討

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛、以下LINE）とトヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：豊田 章男、以下トヨタ）は、LINEが開発を進めるクラウドAIプラットフォーム「Clova」と、トヨタをはじめとする各社が推進する車載機器とスマートフォンアプリ、およびタブレットアプリとの連携規格 Smart Device Link（以下「SDL」）を活用した協業の可能性を検討すべく、協業基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。



「Clova」は、LINE株式会社が開発したクラウドAIプラットフォームであり、日本をはじめ、アジアでトップシェアを持つメッセージングアプリであるLINEが持つコミュニケーション技術や、豊富なコンテンツ・サービスを活用することにより、よりスマートなクラウドAIプラットフォームを実現しました。

“ポストスマートフォン、ポストディスプレイ、ポストタッチ”な世界を目指すべく、「Clova」を用いた様々なサービス、プロダクトの開発を推進していきます。

\* 「Clova」についての詳細はプレスリリース（<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2017/1667>）をご参照ください。

「SDL」は、トヨタが推進するスマートフォンアプリとクルマがつながるためのオープンソースであり、お客様は、車載の音声認識機能や操作パネルを通じ、車内でアプリを操作することができます。

また、「SDL」を用いることで、自動車会社はスマートフォンのアプリケーションを、自社の車載システムの特徴やインター

フェースに合わせて、より安全・快適に利用いただける形で提供することができます。

今回の協業を通じ両社は、LINEの音声エージェントテクノロジーを持つ「Clova」と、トヨタが推進、対応を進める「SDL」を

連携させ、音声エージェント等を活用した新しいカーサービスの実現を、2018年の商品化を目指し検討してまいります。

---